

CONTENTS

- 会長挨拶
「伝統ある摂南大学土木会をさらに面白く」
会長 新田 耕司（摂大平成2年卒）
- 学科長挨拶
「JABEE継続審査に向けて」
都市環境工学科 教授 瀬良 昌憲
- 就任のご挨拶および研究室だより
- 近況報告
- 総会報告 平成29年度通常総会開催案内、学生向けの講演案内
- 教室だより
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
（一級建築士受験資格）認定条件
- [摂南大学土木会] 平成28年度 決算書・平成29年度 予算書
2017年度就職状況
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 同窓会報告
- 技術士会だより
- 事務スタッフ紹介
- 在学生特集
テーマ「成長したこと・させたいこと」

部室棟



1号館3階
(都市環境工学科研究室廊下)



学長表彰前の風景

伝統ある摂南大学土木会をさらに面白く

会長 新田 耕司（摂大平成2年卒）中央復建コンサルタンツ株式会社



摂南大学（以下摂大）土木会会員の皆様におかれましては、各方面で益々ご

活躍のこととお慶び申し上げます。この度の役員改選において、新井栄作会長の後任として摂大土木会の第九代目会長を務めることになりました。半世紀以上にわたり、諸先輩方が築いてこられた歴史ある当土木会の会長に、若輩な私が就任することになり、身の引き締まる思いがいたします。諸先輩方をはじめ会員各位のご指導とご鞭撻をいただきまして摂大土木会発展のために微力ではありますが尽力する所存であります。

摂大土木会は、今年で54年目を迎えました。一方、摂大工学部土木工学科が2002年の工学部都市環境システム工学科への改称を経て、理工学部都市環境工学科となつてから15年を迎えました。当大学では土木系卒業生は、卒業と同時に土木会正会員になるシステムとなっています。土木工学科の名称がなくなつてから、既に10回以上も卒業生が社会に輩出されていることを

考えると、現在の本学において、いまだに土木会という名称が残っていることと違和感を持つ方もおられると思います。本学の土木会は、前述したように53年の歴史があります。一方、摂大が設立されてから今年で42年を迎えま

した。大学と土木会の年数に違いがあるには、摂大の前身である1922年に創立された『関西工学専修学校』から紆余曲折を経て1962年に開設された『大阪工業高等専門学校』が大きく関係しています。『関西工学専修学校』は、現在の摂大となるまでに『関西高等工学校』『関西工業学校』『関西高等工業学校』『摂南高等工業学校』『摂南工業専門学校』『摂南工業大学（現在の大阪工業大学）』、そして『大阪工業専門学校』という変革がありました。土木会は、『大阪工業専門学校』時代の1964年3月に高専土木会として設立しました。このため、大学設立以前の高専時代の大先輩の意思を受け継ぎ、現在でも土木会の名称を残しています。

少し私事に触れます。私は、昭和60年に摂大に入学しました。入学直後に「なぜ本学の工学部で土木工学科が筆

頭にあるか？」の説明がありました。

説明では、前出の高専が土木と建築から始まったことが理由だと記憶しています。また、「君たちは今から土木屋になるのだ」とも言われました。その後、土木を意味するCivil Engineeringは、

建築を除く人間の生活を支える全ての技術（社会資本整備）を総括しており、機械や電気等は、Civilから派生した学問だと知りました。在学中は、不真面目な学生だったので多くは語りませんが、一生の友に巡り合え、そのうちの一人が不幸にも就職一年目にしてトンネル工事で亡くなり、その事故をきっかけに亡くなった友のご両親を含め、絆がさらに深まったことが今でも最大の宝物です。平成2年に卒業して以来、ずっと現在の会社に勤めていますが、私の就職時期は、バブル真っ盛りの売り手市場の環境にあり、デベロッパーを希望していました。しかし、恩師である三笠正人先生に「土木の専門技術を何のために教えたと思っている!」と一喝されながらも私の将来の夢を聴いていただき、中央復建コンサルタンツ株式会社を紹介されました。建設コンサルタンツは、決して派手な

職種ではありませんが、インフラの計画・調査・設計・施工・維持管理に一貫して携わることができ、土木屋としての様々な経験から新たな銘柄も創造することが出来ます。私は、元来飽き性で移り気な性格です。しかし、いまだに建設業界に身を置いています。これは土木が奥深く面白いことに他ならないからだと思います。

摂大土木会は、高専や大学を区別することなく、会員相互の動静を把握するとともに、その親睦を図り、本会の発展への寄与及び都市環境工学科へ貢献します。その一環として、本年11月25日に寝屋川キャンパスで平成29年度総会を開催します。多くの同窓生の皆さまに参加いただきますよう、この場をお借りして申し上げます。摂大土木会は、今後も今までどおり、年に一度の会報発行、2ヶ月に一度の役員会・評議員会の開催、卒業生による講演会を継続し、卒業生だけでなく在学生との交流を深めながら都市環境工学科へ貢献します。また、摂大土木会の正会員・準会員相互の絆を深めるツールとして2005年6月に開設された摂大土木会HPも活用いただくことを併せてお願いします。

最後になりましたが、「伝統」があり「面白い」摂大土木会のため会員の皆様のご支援を深くお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

JABEE継続審査に向けて

都市環境工学科 教授 瀬良 昌憲



摂南大学土木会
会員の皆様には平
素より本学科の運
営にご理解とご協
力を賜り、厚く御

礼申し上げます。昨年4月より学科長を
拝命し、2年目となります。微力ながら
都市環境工学科の発展に力を注ぎたいと
思います。どうぞよろしくお願い申し上
げます。

数年前から求人は良くなっており、昨
年と同様に今年も求人は官民ともに好調
です。今年も公務員希望者は多く、既に
公務員の合格者も7名(本年9月6日時
点)出ており、さらに地方公務員の合格
者が増えることが予想されます。

ご挨拶に代えて、これまでの学科の主
な動きをご紹介します。

(1) 学科の教員関連では、本年3月に頭
井先生が退職され、後任として4月より
福島徹教授(前・兵庫県立大学)が着任さ
れました。福島先生のご専門は都市・地
域計画です。

(2) JABEE関連では、2018年度の
JABEE認定の継続審査(2回目)へ向
けて、JABEE責任者である熊谷教授
を中心に全教員で準備を進めています。
来年度の継続審査においても、摂南大学土
木会の会員の皆様のご協力が必要となり

ます。今後とも、ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

(3) 摂南大学技術士会および摂南大学土
木会の全面的な協力のもとに、在学生向
けの技術士啓蒙のための特別講演会(6
月16日)を実施しました。講演会では、
3年次在学で受験して技術士第一次試験
に合格した2名の学生(北野貴大君と竹
中徹君)から、技術士第一次試験の受験の
準備と心構えについて講演を頂きました
(4) 学科外の話題として、摂南大学寝屋
川キャンパスの隣の日本ペイント寝屋川
事業所の敷地が来年3月に摂南大学へ譲
渡されます。そのため大規模な土木工事
が行われています。写真は本年8月30日
の工事風景です。

最後に、来年度のJABEE継続審査
においても、4千名以上の同窓生の集う

摂南大学土
木会の会員
の皆様のご
協力が必要
となります。
今後とも、
ご支援を賜
りますよう
お願い申し
上げます。



工事現場(日本ペイント寝屋川事業所跡地)

就任のご挨拶および研究室だより



教授 福島 徹

2017年4月に都市環境工学科
に特任教授として着任いたしました。
これまで、神戸大学で21
年間、兵庫県立大学で19年間、
計40年間にわたり大学での教育
研究に携わって参りました。専門
は都市計画・地域計画とまち
づくりで、都市や地域の良い環境形成を目指して
行政が策定する都市計画マスタープランや地区計
画、景観計画などといった計画の立案に関わる研究
や市民と協働のまちづくり、地域公共交通のあり方
などについて研究に取り組んで参りました。そして
この間、両大学で延べ145名の学部生、院生を社会
に送り出してきましたので、都市環境工学科におき
ましても特に、学生を育てることに力を入れて参り
たいと考えています。

研究室は名称を「都市・地域計画研究室」とさせて
いただき、着任と同時に6名の4年生を受け入れ
ゼミ活動を始めています。都市計画関連の学術論
文やレポートを読みながら、近年の都市計画を取

り巻くトピックに目を向けると同時に、研究の進
め方、研究方法論、社会調査法などの学習を進め、
卒業研究として取り組むテーマについて考え、絞
り込みを進めてきています。4年生ですので、就
職活動や公務員採用試験の受験等もあり、なかな
か思い通りには進んでいませんが、現在、「立地適
正化計画にみるコンパクトなまちづくりの誘導施
策」、「自転車の走行実態からみた自転車レーン整備
事業の課題と評価」、「大阪府条例による屋上緑化推
進施策の進捗状況とその課題」、「諸外国における
BRT導入事例にみる我が国への導入可能性につい
て」、「公共交通網形成計画にみる地域公共交通の利
用促進施策について」、「高齢者の外出実態と交通手
段確保の取組について」といったテーマを立てて、
研究に取り組んでいます。研究室はまだまだスター
トを切ったばかりの状態ですが、今後はフィール
ドワークやグループによる地域課題への取組など、
実社会に触れつつアクティブにゼミ活動が展開で
きればと考えています。

近 況 報 告

摂南大学 名誉教授 頭井 洋

今年3月に退職しました。摂南大学では、長きにわたり教育研究に携わることができ、感謝しています。退職後も社会とかかわり続けることが大切と考え、橋桁の制震対策に関する研究を続けています。6～8時間は、机やPCに向かう日々を過ごしています。2ヶ月に一回ほどの頻度で民間会社と京大・



摂南大との研究会にも参加しています。その他、これまで不義理をしていた同窓会や友人・知人との飲み会もあるので、それなりに多忙な毎日です。

とはいえ、

毎日サンデイの気楽な立場ですので、旅行にも時々出かけます。今年の4月当初に、夫婦でハワイに行きました。長男が勤務先で一度だけ与えられる一週間の長期休暇を利用して家族サービスのため計画した旅行に誘ってくれたので、退職記念にもなることから楽しんでできました。写真はそのとき参加した星空観光ツアーの写真です。ハワイ最高峰マウナケア(標高4205m)は世界有数の天体観測場所で、他では味わえない貴重な体験でした。6月には北海道、8月には北兵庫と2ヶ月に一度程度、旅行を楽しんでいます。週に一回程度ですが、夕食の一品作りにも頑張っています。料理は化学実験の様です。レシピを見ながらですが、肉じゃがや野菜炒めなど数種の料理は作れるようになりました。卒業生や孫にも味わってもらいました。健康維持のためにも、いろいろ新しいことにも挑戦していこうと思っています。摂土会の皆様とお会いできる日を楽しみにしています。

有限会社
ウィルコンサルタント

現場のお悩みをお聞きしてお聞きして、さらにお聞きして、お客様自身が解決できる。そんなご提案でお答え致します。

【本店】
京都府相模野市東山3丁目2番地4
電話 0774-27-6234 Fax 0774-98-2085

【神戸支店】
神戸市東灘区東山2丁目25-48
電話 06-600-5014・1396 (代表取締役 幸田 寛彦)

このまちを未来へつなぐ
総合建設コンサルタント

株式会社 アスコ大東

大 阪 本 社 〒541-0054 大阪市中央区南本町 3-6-14
TEL 06-6282-0310 FAX 06-6282-0311

東 京 本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 9-19
TEL 03-5641-2181 FAX 03-5641-2187

神 戸 支 社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通 5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541

奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町 279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031

URL <http://www.as-dai.co.jp/>

OEC

建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤上山福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcfight.co.jp>

新しい時代。
『人と環境にやさしい』吹付のり枠工法

GTFM GTフレーム工法
GREEN-TECHNO-FRAME METHOD

▶ NETIS 登録番号 CB-070019-A

Ecology イビデングループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

イビデングリーンテック 株式会社

【本 社】〒503-0021 岐阜県大垣市河間町 3-55
TEL 0584-81-6111 FAX 0584-74-1971 <http://www.ibiden.com/jbgt/>

ご 案 内

2017(平成29)年度 摂南大学土木会総会

2017(平成29)年度総会を下記日程で開催いたします。

ぜひ旧友とご連絡をお取りいただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

■ と き: 2017(平成29)年11月25日(土)

○15:00~16:00 特別講演:『(仮)熊本地震におけるライフライン調査』

発表者: 摂南大学 理工学部 都市環境工学科 教授 片桐 信 先生

○16:15~16:45 2017(平成29)年度総会

○17:00~19:00 懇親パーティー

■ ところ: (特別講演、総会) 摂南大学寝屋川キャンパス 5号館 2階522教室

(懇親パーティー)

//

11号館11階スカイラウンジ

■ 会 費: 3,000円

準会員(学生)向けの講演

2017(平成29)年10月21日(土)

13:00~14:00 (8号館 4階842教室)

『就職活動に向けた土木業界の特徴』

(株)近畿地域づくりセンター

設計積算部 アシスタントマネージャー

小川 芳也 先生

教室だより

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

今年度、都市環境工学科には、1年次81名(8名)、2年次73名(5名)、3年次64名(7名)、4年次70名(7名)で合計288名(27名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次3名、2年次4名です。一方、学科陣容は2017年3月に摂南大学で26年間勤務された頭井洋教授がご退職されましたが、新しく2017年4月より福島徹教授を迎えました。瀬良昌憲教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

学科の専門科目で、都市環境基礎ゼミⅡの中で、「P-1グランプリ」というコンテスト形式の授業を展開しています。ペーパーを用いて製作する橋梁模型の強度コンテスト(構造部門)および工夫点をアピールするプレゼン審査(プレゼン部門)を実施しています。

2016年度 P-1グランプリは、2017年1月18日に実施しました。その中で種々の模型で新しい発想が見られ、個性的なモデルが増えてきています。学生の様子を見ると、参加意欲も比例して上昇しているのではないかと考えられます。構造部門の優勝は熊野ゼミ、準優勝は熊谷ゼミとなり、プレゼン部門の優勝は熊谷ゼミ、準優勝は頭井ゼミとなりました。

学科主催の行事として、2016年10月6日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。

講演会では、1年生向けには、(一社)建設コンサルタンツ協会(JCCA)のご協力を得て、建設コンサルタントの役割や業務内容などについてご講演いただき、3年生向けには、大阪府都市整備部の方のご協力を得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問しておりました。

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疏水記念館)に、3年生は3箇所(①天ヶ瀬ダム再開発事業放流設備トンネル見学、②NEXCO総研緑化技術センター、③城陽IC関連寺田地区改良工事橋梁見学)にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、摂土会を通じて、城陽IC関連寺田地区改良工事橋梁見学(案内:近畿地方整備局京都国道事務所 今西 秀樹 様)に見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。



人と防災未来センター(1年生)



天ヶ瀬ダム再開発事業放流設備トンネル見学(3年生)



城陽IC関連寺田地区改良工事橋梁見学(3年生)

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件※1

入学年 (西暦)	入学年 (平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する※2。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する※3。
2003	15		
2004	16		
2005	17		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。 又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する※2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する※3。
2006	18		
2007	19		平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を単位取得して卒業する。 又は卒業後に「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する※2。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する※3。
2008	20		
2009以降	21以降		認定されない。※4

※1:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

※2:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

※3:卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。詳しい条件等については教務課又は(財)建築技術教育普及センターに問い合わせてください。

※4:2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。



まちのコントラクター
苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981(代表)
ホームページ: <http://karitakensetu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

大阪市内より30分圏内の

緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

——当社推奨霊園——

総持寺霊園(淡木市) 服部徳風墓地(豊中市)
陸国寺墓地(吹田市) 竜の子霊園(奈良県)
海印寺墓地(長岡京市) 玉手山墓園(柏原市)
王寺霊園(奈良県) 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
東本願寺天満別院(北区) 飯盛霊園(四條畷市)
北橋霊園(豊能町) その他公営墓地
真龍寺霊園(淡木市)

独自技術で未来を育むベストソリューションを提供します。

●環境・水

■多層多孔電圧伝導度計測システム ■地下水資源調査・開発
■土壌・地下水汚染調査 ■環境予測・評価
■自然由来重金属汚染判定(ポルタンフリー法)

●海洋・エネルギー

■マルチチャンネル音波探査(2D・3D)
■水上三次元音響測深
■シングルチャンネル音波探査 ■海底地震計

●防災・減災

■土砂災害予測・計測システム ■空洞写真・空洞内部計測装置
■スレーブ震源による地質構造調査と地震動評価
■ラバー型大口径サンプラー ■IT傾斜計測システム

●メンテナンス

■パルスレーザ探査 ■連続波レーザ探査 ■EM探査
■コンクリート劣化診断 ■GoTEN-tk(孔内局部載荷試験)
■孔内ベクトル磁力計 ■SAAMジャッキ(軽量型リフトオフ試験機)



Sincerely, Speedy, and best Solution.



川崎地質株式会社

〒108-8337 東京都港区三田2-11-15
TEL.03-5445-2071 FAX.03-5445-2073
Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd. <http://www.kge.co.jp/> E-mail: post-master@kge.co.jp

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

大規模開発(住宅団地・工業団地)／
土地区画整理事業／建築設計／
環境アセスメント

株式会社開発計画研究所

業者登録

・建設コンサルタント 登録番号・建(24)第4364号
・一級建築士事務所 登録番号・第A3563号
・測量業 登録番号・第7-15601号
・補償コンサルタント 登録番号・補28第2949号

代表取締役 **井上 忍**
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸
TEL 03-5828-6855

[摂南大学土木会] 平成28年度 決算書・平成29年度 予算書

平成28年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成29年5月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。また、平成29年度予算は表2に示すとおりである。

表1 平成28年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	970,483	970,483
正会員入会金	600,000	590,000
広告料(延べ22社)	320,000	440,000
預金利息	500	289
名簿売上	3,000	0
特別積立金より繰入	0	0
寄付金	0	84,870
合計金額	1,893,983	2,085,642

支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	140,000	41,067
名簿追加修正費	30,000	24,510
会報発行費	800,000	705,129
同窓会補助	30,000	0
役員会・評議員会費	100,000	82,773
慶弔費・見舞金	70,000	57,449
雑費	30,000	10,642
特別積立金	500,000	500,000
予備費	193,983	664,072
合計金額	1,893,983	2,085,642

▲平成28年4月1日現在 特別積立金380万円

表2 平成29年度予算

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	664,072
正会員入会金(60名)	600,000
広告料(18社)	360,000
預金利息	500
名簿売上	3,000
特別積立金より繰入	200,000
合計金額	1,827,572

支出の部	
科目	予算
事務費等	140,000
総会費	400,000
名簿追加修正費	30,000
会報発行費	800,000
同窓会補助	30,000
役員会・評議員会費	100,000
特別講演会(2人分)	100,000
慶弔費・見舞金	70,000
雑費	30,000
予備費	127,572
合計金額	1,827,572

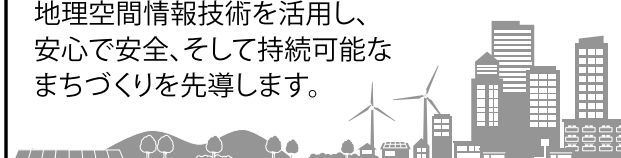
▲平成29年4月1日現在 特別積立金410万円



Japan Asia Group
国際航業株式会社

70th
ANNIVERSARY
SINCE 1947
おかげさまで
創立 70 周年

地理空間情報技術を活用し、
安心で安全、そして持続可能な
まちづくりを先導します。



関西事業所 / 西日本支社
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15
TEL:06-6487-1111 <http://www.kkc.co.jp/>

感謝の気持ちを未来へ。

建設業許可番号 国土交通大臣 許可(特一21)第20898号
一級建築士事務所登録番号 滋賀県知事登録(口)第1898号
ISO 9001:2008 登録番号 RQ0678 ISO 14001:2004 登録番号 RE0352

株式会社 桑原組

代表取締役社長 桑原 勝良

本 社 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木926番地
TEL0740(32)2345(代) / FAX0740(32)0700
大津本店 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1番24号
TEL077(525)0999 / FAX077(522)1418

「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)
大阪事務局(株式会社コスモテック内)
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-10-703
TEL:06-6942-0808 FAX:06-6942-0909
E-mail: info@jsk-jiban.com URL: <http://www.jsk-jiban.com>

地盤防災ジャパン 検索

コンクリート製品と建設業を通して、
人々の「安心」「安全」な暮らしの環境造りに貢献する。

事業内容 コンクリート二次製品の開発・設計・施工・製造・販売及び総合建設業
代表者 代表取締役社長 荒川 崇

本 社 〒613-0903 京都市伏見区淀本町225番地
TEL 075-631-3231 FAX 075-631-9588
営業所 宮城、群馬、長野、東京、静岡、愛知、三重、滋賀、
京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、香川、福岡、沖縄
工 場 京都、三重、兵庫

KCON ケイコン株式会社
<http://www.kcon.co.jp>



就職バブルの再来

都市環境工学科 教授 伊藤 譲

今年度の9月2日現在の進路内定状況は、4年次生69名中48名が内定(内定率70%)、主な大学院生4名全員が内定(内定率100%)です。内定先はゼネコン・専門工事会社26名(35%)、次に公務員が8名(11%)、コンサルタント5名、メンテナンス3名、大学院3名、舗装会社1名等です。ここ数年、公務員希望者が多く、今年度も最終的には10名前後が公務員に進むものと思われます。これに対して、苦戦しているのが、「就職氷河期」において人気の高かった舗装・保線関係の企業で、ブランクなイメージを払しょくできないでいるようです。未内定学生の多くは公務員試験の結果待ちと二次募集応募中、内定は確保しているものの他の企業を検討中、教職や他業種希望者等です。

学科では就職支援のために、ここ数年3月中旬に企業約60社の協力の下、企業説明会を実施しています。また、官公庁についても近畿地方整備局等から説明会を開催していただいています。

さて、企業と官公庁のOBの方にお願ひがあります。それは求人の方の標準化です。今から十年前の就職氷河期と昨今の就職バブル期を少しでも均すことができないものかと思ひます。氷河期には、建設業界の先細りを懸念して求人数が大幅に絞られて、トップクラスの学生でも就職先を見つけるのに苦労しました。しかし、現在は公務員から民間企業まで当時の学生には信じられない就職バブルを呈しています。氷河期には圧迫面接(今では死語で泣かされて帰ってくる学生を慰めることが教員の仕事でした。ところが昨今は実力不相応な企業から内定を得た学生の思ひ上がりを注意することが多くなりました。現在は政府の国土強靱化の

方針の下、新幹線や高速道路網の整備、構造物の老朽化対策、豪雨や地震・津波対策のような防災関連事業が目白押しであるように見受けられます。さらに団塊の世代の退職時期が重なり就職バブルに拍車をかけていますが、このような状態が永遠に続くことはなく、再び氷河期に舞い戻ることが十分に考えられます。しかし、土木事業は空気や水と同じで国が存在して人々が生活する限り一定量は必要ですから、常に一定数の土木技術者が社会から求められることは間違いありません。OBの皆様には、次に訪れる氷河期にも、摂士会准会員へ是非とも一定数の求人を継続していただきたいのです。

次に、学生諸君には、希望する職場に内定を得たとしても、それだけで安心しないでもらいたい。社会には波があります。最近でも地方自治体の財政破たんや世界的大企業の倒産のようにどのような組織にも消滅する危険性があります。これからの社会で生き抜くためには、就職をゴールとして捉え組織に守ってもらおうと考えるのではなく、どここの組織でも生きていける基礎学力と学習習慣を身に付けることです。現在は就職バブルの時代です。誰でも内定を得られますが、それが自分の実力と勘違いしてはいけません。猫の手も借りたいくらい人手不足の社会に、諸君は猫として採用されているのです。しかし猫のままで一生を過ごせません。バブルは必ずしもじけず。大切なのは残りの学生生活をバブルの夢の中で過ごすのではなく、いかにして社会で必要とされる人材に近づけるか努力することです。

アルミでつくる
まちづくり



株式会社 住軽日軽エンジニアリング

本社/〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL.03-5628-8510
大阪支店/〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561
<http://www.sne.co.jp/>



株式会社 修成建設コンサルタント

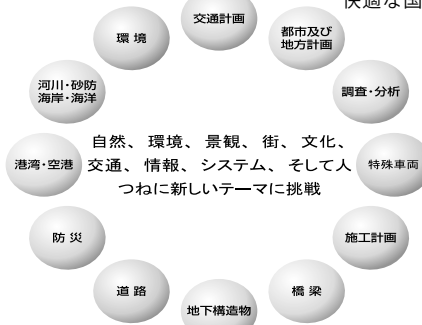
快適な国土をデザインする

代表取締役社長
八尾 博彦

事務所
兵庫・姫路・京都・
滋賀・福井・奈良・
和歌山・名古屋・三重

卒業生

吉澤慶文 高専土木 S50
徳久仁志 高専土木 S54
小東宏光 摂大 H4
藤原基享 摂大 H7
札幌太太 修士課程 H25



〒530-0055 大阪府北区野崎町7番8号 梅田パークビル 8F
TEL 06-6367-3800 Mail scscomu@shusei.co.jp

入社して経験したこと

大鉄工業株式会社 京都支店京都土木メンテナンス出張所

窪田 真央（平成25年摂南大学理工学部都市環境工学科卒）



私は平成25年3月に摂南大学を卒業し、同年4月に大鉄工業株式会社に入社しました。入社後5年経過しましたが、入社して経験したことを報告させていただきます。

弊社は、JR西日本グループの建設会社であり、主に鉄道工事の施工を行っています。工事部門は、線路部門、建築部門、土木部門の3部門で構成されており、私は土木部門に所属しております。入社して以来、鉄道高架橋の下部工から上部工の新設や、信楽高原鐵道での災害復旧工事、JR在来線での鉄道土木構造物のメンテナンス工事の現場監督として、携わってきました。

今現在は、JR在来線での鉄道土木のメンテナンス工事に従事しています。主に橋梁の修繕工事に携わり、経年劣化した箇所特に支承の取替えを多く行っています。基本的には昼間に準備作業を行い、列車が運行しない夜間にジャッキで桁を持ち上げ、劣化した部材を取替えます。修繕箇所は、明治・大正時代に架設されたものをはじめ、さまざまな構造物があるため、その工事箇所に応じた計画を立てながら工事を進めていく必要があります。さらに、河川や道路と交差する箇所では、河川管理者や道路管理者との協議が必要になります。他にも、地域住民の方に工事内容をご理解いただくことが重要であるため、広報活動には特に力を入れています。そのため計画を立てる上で悩むことも多いですが、それぞれのケースについて施工方法の検討を行うことに、この仕事の面白さを感じています。

また、現場は管理者である私と協力会社の作業員の方で仕事を行います。現場監督としての責任は重いのですが、自分の考えたことが現場に反映されていくため、やりがいを感じております。今後は、さらに経験を重ねて、周囲から信頼される技術者になれるように頑張っていこうと思っています。

最後に、これからも鉄道を通じて、「人と人」「地域と地域」を結び、社会の発展や人々の安全で快適な暮らしを支えていくことのできる摂大生に出会えることを楽しみにしております。

入社4年目を迎えて

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

大阪点検事務所

後島 佑輔（平成26年摂南大学理工学部都市環境工学科卒）



私は、平成26年に西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社へ入社しました。弊社はNEXCO西日本グループの一員として、お客様へ高速道路の100%の安全・安心・快適を提供するために日々業務を行っています。その中でも、高速道路の維持管理の要となる「点検」を主とした部署に所属しており、今年で4年目を迎えます。

1年目は、先輩とともに現場へ行き、橋梁やトンネルといった道路構造物の点検を行いました。当初は、構造物の部位名称や損傷内容など聞き覚えのない言葉を頻繁に耳にし、それらを覚えるのに必死でした。しかし、1年目から現場へ出られたことで自分たちの行った点検が今後の維持管理へ活かされることを実感し、より一層の責任感を持つことができました。

2年目より現在に至るまでは、トンネル内部の画像を撮影し、机上で損傷を抽出する「トンネル覆工点検」という業務を担当しています。3年目からは自分が主担当となり、工程管理、NEXCOへの報告などを行うようになりました。なかなか思うようにいかず悩むこともありましたが、周りの助けもありやり遂げることができたときは非常に達成感がありました。今後も高速道路の安全・安心・快適をお客様へ提供するために、強い責任感を持って業務に取り組んでいく所存です。

最後に、仕事は個人ではなくチームで行うものです。学生の皆様には、学生生活や今後の社会人生活で出会った人との繋がりを大切に、良い人間関係を築いていただければと思います。また、新たな出会いとして多くの摂南卒業生が弊社へ入社し、お会いできることを楽しみにしております。

3年間の経験で学んできたこと

株式会社スリーエスコンサルタンツ 企画設計部

松尾 保宏（平成27年摂南大学理工学部都市環境工学科卒）



私は、平成27年に摂南大学を卒業しました。摂南大学で土木を学び、道路や橋梁などを設計してみたいと思い、スリーエスコンサルタンツに入社しました。今年で3年目を迎えますが、仕事や会社の雰囲気にも慣れてきて充実した毎日を送っております。

入社当初は、資料印刷等の雑務が多い日々でした。そんな中で、先輩上司から簡単な図面修正を任されるのが楽しみでした。ある業務で、道路の線形変更に伴い、その周辺の構造物の位置や高さなどが変更となったため、それらに関係するすべての図面を修正することになりました。膨大な量の図面で大変でしたが、たくさん図面に触れることで道路の構造や仕組みを知る良い機会になりました。

仕事を任されるようになると、発注者との打合せに同行する機会がさらに増えました。私が担当した設計内容について発注者へ説明する際、いかに簡潔にわかりやすく伝えるかが重要になります。学生時代によくコミュニケーション能力が大事だと言われてきましたが、社会に出て経験してみても改めて重要だと考えさせられました。

入社3年目となり、大きな仕事を任せられるようになりました。現在は、主に交差点の設計や解析、施工計画に携わっております。初めての経験で苦戦しますが、未経験なことには挑戦していくのが私の楽しみです。これからさらに大きな壁が待っていると思いますが、成長の一環として楽しく勤めていきたいです。

同窓会報告

摂南大学土木工学科2期生、還暦を祝う同窓会

山口 雅明(土木工学科2期生、昭和55年卒)

去る平成29年4月29日(土)、午後6時より常翔学園、梅田キャンパス「OITタワー」最上階の21階「リストランテ翔 21」で土木工学科2期生(昭和55年卒業)の還暦を祝う同窓会を開催いたしました。

同窓会には2期生19名、先生1名が御出席いただきました。

OITタワーは平成29年4月1日にオープンしたばかりです。ここでの同窓会の開催は初めてではないかと思われます。

早く来たメンバーはOITタワーの見学をすることになり1階、2階のレストラン、各キャンパスや会議室やホール、最上階のレストランや特別室、ウッドデッキのテラスやヘリポートも見学させていただきました。

見学後レストランの100種類以上もそろっていますワインセラーの前の席に案内されソムリエからワインの説明もしていただきました。

我々は大学を卒業して38年が経ち2期生は今年60歳の還暦を迎えます。速い者は春に退職を迎えた者もいます。

同窓会の話題は退職の話や再就職の話、孫の話が多く、学生時代の話は少なくなってきました。

先生におかれましては、井上先生は元気で御出席いただきましたが、案内いたしました先生1名は1昨年に亡くなられていました。また1名は体調が悪く欠席の返信でした。

10年後の70歳の同窓会も全員参加を誓い9時にお開きといたしました。



思いを新たに

創業者・浅野一郎は
“人間の目的は「死んだ後まで社会を益すること」を志すにある”
という言葉を残しました。

私たちは創業の志を忘れることなく、
未来に向かって歩んでまいります。

東亜建設工業
TOA CORPORATION

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

真心と技術で創造します

卒業生 32名在籍

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号
<http://www.daitetsu.co.jp/>

大鉄工業

土木構造物の設計・維持管理の専門技術者集団

将来にわたり、鉄道構造物の設計・土木構造物の維持管理に係る
高度な技術力と豊かな経験を次世代の技術者に継承します。

中央復建デザインプラス株式会社
DESIGN PLUS

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4丁目11番10号(中央復建コンサルタンツ内)
TEL: 06-6160-1135 E-mail: info-cfkdp@cfk.co.jp
URL: <https://www.cfkdp.com/>

Since 2017

創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な
企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍
できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、
人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を
注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

中央復建コンサルタンツ株式会社
CFK CONSULTANTS

Since 1946

[本社] 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-41-09
TEL: 06-6160-1121 FAX: 06-6160-1127

[東京本社] 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL: 03-3511-2001 FAX: 03-3511-2011

事務スタッフ紹介

田之上 久美子



はじめまして。昨年の12月から、都市環境工学科で勤務しております田之上と申します。

パートとして色々な仕事をしてまいりましたが、学校の事務ははじめてで戸惑うとばかりです。準備室スタッフの方に、優しく丁寧に教えて頂き感謝しております。

私には大学2年と1年の娘がおり、日々学生達と接していると、娘も学校でこんな感じなのかとか、提出物は出せているのか、もうそろそろ試験が始まるなあなどと考えながら仕事しております。

私の今の楽しみは、娘達とランチに行ったりショッピングをしたりすることです。後は主婦友達との飲み会(あまり飲めませんが)というよりお喋り会です。

こちらに勤務して9ヶ月が経ち準備室スタッフの方や先生方にご迷惑をお掛けしておりますが、少しでも早く仕事を覚えて頑張る参りますのでよろしくお願いいたします。

技術士会だより

会長 木下 幸佐(摂大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来16年目を迎えました。摂南大学卒業生で技術士・技術士補の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験に合格された方を準会員として構成しており、昨年度も前田芳郎様他2名が合格され会員数も73名(内準会員3名)となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第一次試験受験セミナーの開催を行っております。

また平成20年からは、大学技術士会連絡協議会のメンバーとしても大学相互の技術士の連携・啓発活動に参画しており、参加大学も30大学と増加しております。

卒業生の皆様方の中で、技術士および技術士補をお持ちの方は是非、技術士会への入会をHPよりお願いします。会員相互の連携と親睦をはかり、母校の発展に尽力しましょう。

訃報

平成29年2月4日に永眠されました。

渡辺 未知也 様(高専51年卒業)

謹んでご冥福をお祈りします。

船越	細木	奥田	久保	辻宅	橋本	吉田	足立	谷川	影林	江原	荒瀬	大島
紀文	誠	日出男	登之	英之	賢司	隆成	博成	久明	義賢	光治	美喜夫	正樹
(昭和57年卒)	(昭和57年卒)	(昭和46年卒)	(昭和62年卒)	(昭和59年卒)	(昭和51年卒)	(昭和50年卒)	(昭和54年卒)	(平成23年卒)	(昭和47年卒)	(昭和44年卒)	(昭和42年卒)	(昭和42年卒)
(平成3年卒)												
三川	林	日下	筒井	別所	本間	西村	柳瀬	高石	梶原	松本	太田	
和夫	義宜	博之	憲司	友宏	祐樹	正道	隆夫	清賢	博史	孝	明	
(昭和61年卒)	(昭和60年卒)	(昭和48年卒)	(平成12年卒)	(昭和49年卒)	(平成16年卒)	(昭和62年卒)	(平成3年卒)	(昭和58年卒)	(昭和47年卒)	(昭和55年卒)	(昭和43年卒)	

昨年7月以降に
寄付いただいた方を
今号にてご紹介いたします。
(順不同)

The great power of water

日進機工株式会社

NISSIN KIKO

＜ウォータージェット工法のパイオニア＞

日進機工は、お客様の生産設備・インフラを最適な状態で維持・管理していく事で、お客様の仕事と生活の両方に寄り、お客様に価値を与える会社です。

あらゆる産業・システムに精通する総合力と、常に高みを目標に、開発を続けるウォータージェット工法の専門技術を生かし、お客様から「こんなことが出来た」という悩みや要望を全力で解決していきます。

お客様が困ったとき必ず力になれる会社、それが「日進機工」です。

本社 〒463-0808 愛知県名古屋市中区栄町2丁目403番地
TEL 052-799-2771 / FAX 052-799-2671
代表取締役 渡辺 未知也 (日本洗浄技術開発協会 中部支部 支部長)
営業所 東京支店・大阪支店・九州支店・東海支店・東北支店 他
URL <http://nissinkiko.com/>

＜事業内容＞土木関連工事
シールド工法工事、トンネル土木関連工事
異種素材異種材料異種工事、異種素材異種材料異種工事 他
その他多数の業界・現場にて工事実績有り

常盤工業株式会社

70th
1947年設立
創業70周年

大切な自然を守りながら、
バランスよく発展する社会。
私たちがめざすのは、エコロジーを考えたエコロジー

【本社】 〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38
TEL: 03-3262-9181 FAX: 03-3262-9200

【大阪支店】 〒540-0012 大阪府中央区谷町1-3-27
TEL: 06-6942-1507 FAX: 06-6942-1500

HC 21世紀をグローバルに拓く

株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 **花村 浩司** (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント

道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援

測量
測量全般、鉄道測量 (JR)

代表取締役 **市原 久照** (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3番地の2
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966
E-mail: nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp
<http://nissho-engineer.co.jp>
支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所



テーマ「成長したこと・させたいこと」

充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています！

時間の大事さ

2年生 下出 健太



私は摂南大学に入学して、自分の考え方に幅が出たと思います。高校の時は違い大学では将来のことを考えながら、自分で授業を選択しなければなりません。自分の将来を本気で考えたときに知識のなさに不安を覚えました。高校時代は、将来に就きたい職業がなく、授業で習ったことしか勉強しませんでした。しかし、大学に入りまだ就きたい職業を絞ってはいないですが、税金や社会保障などと思いました。土木のことはもちろんですが、空き時間や放課後の社会の仕組みや経済のことも知りたいと思い、空き時間や放課後の時間を使って勉強しています。いろいろなことを知ることで様々な視点から物事を考えることができると考えました。こうした自分が好きなことの勉強をできる時間がたくさんあるのは大学生の特権だと考えています。時間が大事というのは大学に入って気づきました。これらの時間を有効に使い勉強だけではなく人間的にも成長していきたいと考えています。

自分の意見を伝える大切さ

1年生 南川 真美



私は、自分自身の将来については、まだ1方向に絞ってはいません。中高の数学教員、公務員、または所属学科が土木系なので建設業に進むのか悩んでいます。しかし、将来いずれの方向に進んでも就職希望先の面接官は積極性のある人材を求めるでしょう。私は、高校まで先頭に立つような役割を避けていました。ときには、失敗することを恐れ、議論中に意見しないことも多くありました。「こんな消極的な自分では社会に出て通用しない」と考えている時、この摂南大学に入学しました。入学して半年が過ぎ、様々な講義を受ける中で気付いたことは、グループワークが多いことです。このグループワークを通して自分の意見を他者へ伝える大切さを学びました。私の意見が役立ち、成功に導くかもしれない。そう考えると失敗を恐れず行動できるようになりました。私には、きっと今後も新たな課題が出てくると思います。それらの課題にも取り組み、社会で通用する人になりたいです。

成功に向け 努力することの大切さ

4年生 田中 達大



私は文化祭実行委員会に所属し、そこではメインステージで行われる催し物の考案や司会、演奏等で出演する団体の日程管理などをする企画局という局に入りました。3年目には局長という、全体で見れば幹部のポジションを務めさせて頂きました。そこでは先輩、同期、後輩、企業の方や教職員の方々と話す機会が多く、礼儀や対話力といったスキルが身に着いたと同時に、全体で協調性を持ち、成功に向けて努力するという土木の現場においても欠かせないであろうスキルが身に付きました。私は来年、大学院への進学が決まっており、同期は先に卒業してしまいましたが、卒業後も関わりあうであろう素晴らしい友人たちに会えたことが、大学生活においての一番の成長の糧となった点だと思います。大学院では、勉学の面で何か一つでも自分の強みになるポイントを作ればなと考えています。

積極的に行動することの大切さ

3年生 松山 舞



私が大学で成長したことは、自分の意見をまとめる能力と発信する能力が身についたことです。高校の頃とは違い大学では、課題としてレポートが多く出ます。はじめは慣れていないために、上手く自分の意見を文章に表すことが出来ずにまとまりがなかったのですが、何度か取り組みレポートを書いているうちに要領をつかむことができました。また、授業ではプレゼンをする機会が何度もありました。私は人前に出ると、緊張してしまい上手く発信することができなかったので、強制されない限り自分からは行動できませんでしたが、そんな自分を变えたいと思っていました。そんなときに都市環境基礎ゼミⅡのP-1グランプリという橋梁模型の強度コンテストおよび工夫した点などをアピールする場でプレゼンをする機会がありました。これまでの自分と向き合い一生懸命に取り組んだ結果、プレゼン部門で優勝することができ、積極的にプレゼンをしてよかったと思った瞬間でした。そして現在、ものづくりインターンシップという授業で社会人基礎力を身につけたいと思い取り組んでいます。インターンシップでは、初対面の人とグループワークをしたり、プレゼンをしたり苦しい分野ではありますが、自分をより成長させるために私は自らの意思で行動しています。

編集後記

このページは、私たち大学院生が企画し作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生や皆様のご家族にも親しみがあり、学科の在学生がどのように取り組んでいるかがわかるような会報誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には288名の学生が在籍しています。摂南大学土木会の歴史は半世紀を超え、その中で、学生の考え方も変わってきていることと思います。

そこで、学生がどんな目標を持って大学生活を送っているのかを皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「大学で成長したこと・させたいこと」としました。それぞれ近い将来を意識するような内容であり、学年を追うごとにインプット・アウトプットを経験でき、目標に向かって積極的に取り組んでいるように感じました。

最後に、このページの作成にご協力くださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



編集委員 M1
田中 遼、平井 義明、内山 昌哉